

## 審議会等の会議録

審議会等名	海老名市高齢者保健福祉計画策定委員会 第5回会議 ※書面開催
意見提出期間	令和5年12月1日から令和6年1月12日まで
場 所	-
意見提出者	<p><b>1 委員（11名）</b>          内山会長、前田副会長          守屋委員、安田委員、豊永委員、窪倉委員、三宅委員、          辻 委員、杉山委員、勝田委員、江崎委員</p> <p><b>2 関係者（2名）</b>          さつき町地域包括支援センター 大谷氏          海老名市基幹型地域包括支援センター 鈴木氏</p> <p><b>3 事務局（12名）</b>          保健福祉部長 伊藤          保健福祉部次長 小松          保健福祉部次長 篠原</p> <p>介護保険課長 田中          介護保険課課長補佐兼係長 栗本          介護保険課主幹兼係長 三浦          介護保険課主幹兼係長 横溝          介護保険課主査 永田</p> <p>保健福祉部参事兼地域包括ケア推進課長 金指          地域包括ケア推進課主幹兼係長 伏見          地域包括ケア推進課主任主事 山崎          地域包括ケア推進課主事 小川</p>
傍聴人数	-
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 <input type="checkbox"/> 非公開

一部非公開・ 非公開の理由	
議 題	(1) えびな高齢者プラン 21【第 9 期】（パブリック・コメント案）の 内容確認について (2) パブリック・コメントの実施に係る一部内容の変更について（報告事項）
資 料	【資料 1 号】 素案からパブリック・コメント案への変更点について  【資料 2 号】 パブリック・コメントの実施に係る一部内容の変更について （報告事項）  【参考資料】 第 9 期えびな高齢者プラン 21（パブリック・コメント案）

### ○会議の内容（提出された意見及びそれに対する回答）

議題(1)	
えびな高齢者プラン21【第 9 期】（パブリック・コメント案）の内容確認について	
【事務局】	○ 策定委員会や作業部会からのご意見や議論を通じて本計画の案を作成しました。 ○ つきましては【資料 1 号】及び【えびな高齢者プラン21【第 9 期】（パブリック・コメント案）】をご確認頂き、ご意見や修正等ありましたら、お願いします
【委員】	○ 21ページ「オ オーラルフレイル検診」について。 ○ 指定歯科医の中に、この健診の意味を理解していない医院があり、この事業の取り組み方を徹底して欲しい。 ○ 私が、受診を希望したら、義歯か歯、歯ぐきに異常がなければ受れないと言われた
【事務局】	○ 事業担当課と情報共有し、事業改善に向けて検討してまいります。
【委員】	○ 57ページ「（ウ）新・ふれあいランチ事業」について。 ○ この事業を実施しようとしても、協力飲食店を捜すのが難しい。個人飲食店の制限をはずして、弁当などにしても良いと思う。

【事務局】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本事業は、高齢者のふれあいの場を確保するとともに、地域飲食店の活性化も図りたいものです。</li> <li>○ その観点から、現時点では市内地域飲食店からの調達を想定しております。</li> </ul>
【委員】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 17ページ「健康教育」について</li> <li>○ 第9期の計画で素案通り運動と栄養を区別して延べ人数を計上するのが良いと思います。</li> </ul>
【事務局】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 健康教育は健康増進全般であり、単に運動・栄養に分類することができず、まとめて計上することといたしました。</li> </ul>
【委員】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 28ページ「フレイル予防」について</li> <li>○ 第9期計画のフルフレイルチェック実地者数の中に簡易フレイルチェックの人数も含めてほしい。</li> </ul>
【事務局】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 頂いたご意見を基に、簡易フレイルチェックの計画値を表に追加します。</li> </ul>
【委員】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 39ページ「イメージ図」について</li> <li>○ 素案の図解が解りやすい。</li> </ul>
【事務局】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 素案時のイメージ図は少し複雑な印象を受けるイメージ図であったことから第4回会議にて頂いたご意見を参考に視覚的に柔らかなイメージ図に差し替えさせて頂いております。</li> </ul>
【委員】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 41ページ「えびなの安心キット・救急安心カードの配布」について。</li> <li>○ 施策の方向性について「イベントやサロン等高齢者の集まる場所において」と具体的に示すことが良いと思います。</li> </ul>
【事務局】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ご意見の通り補記させて頂きます。</li> </ul>
【委員】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 46ページ「訪問型サービス」について</li> <li>○ 第9期計画にヘルパー養成人数も掲示してはと思います。</li> </ul>
【事務局】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ヘルパー養成研修は市主催で毎年1回実施しています。</li> <li>○ 実際の養成人数が明示されることは意義があると考えられますので、ご意見のように、計画数を追加で掲載させて頂きます。</li> </ul>
【委員】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 67ページ「認知症ケアパスの普及・啓発」について。</li> <li>○ 配布数の第8期計画・実績の計数がありません</li> </ul>
【事務局】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第8期計画では、計画数等の設定をしておらず、実績の値が不明のため、掲載ができず、申し訳ありません。</li> </ul>

【委員】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 74ページ「成年後見制度の活用」について</li> <li>○ 施策の方向性の中に市民後見人の役割も加えては如何ですか。</li> </ul>
【事務局】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市民後見人の定義等については資料編に追加させて頂きませす。</li> </ul>
【委員】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 76ページ「ひとり暮らし高齢者安全点検」について</li> <li>○ 施策の方向性に「今後、民生委員や地域サロン等の協力」としては如何ですか。</li> </ul>
【事務局】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ご意見を踏まえ、補記させて頂きます。</li> </ul>
【委員】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 21ページ「オーラルフレイル健診」について</li> <li>○ 口腔機能の低下は認知症など全身に影響を及ぼすことをもっとPRして認知度の向上を普及啓発して欲しい。</li> </ul>
【事務局】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ オーラルフレイルに限らず、フレイル予防全般は重要であると考えため、更なる普及啓発に努めます。</li> </ul>
【委員】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 26.28.30ページ「フレイル予防事業」について</li> <li>○ スポーツ推進、プール等利用助成は大変いいのですが、ピナスポ、高座施設組合温水プールに行く交通手段を考慮する必要があるのでは？</li> </ul>
【事務局】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高座プールでは週2回1日3回のシャトルバスを運行していただき、国分コミセン・本郷コミセンから利用していただくことが可能です。他、海老名駅からの路線バスをご利用いただいております。</li> </ul>
【委員】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 42ページ「寝たきり老人等短期入所」について。</li> <li>○ 中心荘入所は数年待たなければと私の時では言われています。短期入所ができること始めて知りました。</li> </ul>
【委員】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 54ページ「介護予防普及啓発事業」について</li> <li>○ 以前、広報で見た「ともの輪」当日申し込みだけでした。これだと予定がたてづらい。今はどうなっているのでしょうか。</li> </ul>
【事務局】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ともの輪は、通いの場として、予約なしで参加できるようにしています。</li> <li>○ コロナ禍では、人数制限がありましたが、現在は定員を一応設けておりますが、基本的に来ていただいた方に参加していただけるようにしています。</li> </ul>

【委員】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 67ページ「認知症ケアパスの普及・啓発」について</li> <li>○ 「認知症ケアパス」私は始めてこの言葉を知りました。もし自身が認知症当事者になった時、家族になった時のため、この言葉しっかり覚えておきます。</li> </ul>
【委員】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 54～55ページ「一般介護予防事業【施策の方向性】」について。</li> <li>○ 高齢者が気軽に参加できる場を作ることは大切です。自宅から近い場を設けたり、オンライン開催も一案ですが、ビナスポの活用などをしたり、外出の機会を作ることを目指すのであれば、移動手段を整える必要もあると思います。デマンド交通とも関連することですが。</li> <li>○ また、文章としては「高齢者がデジタル化社会に対応できるよう・・・」というのをおかしいと思います。</li> <li>○ 高齢者側がオンライン教室に対応できるようにすることが必要では？</li> <li>○ 受講するための機器の設置や、技術の習得も配慮すべきではないでしょうか？</li> </ul>
【事務局】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現在、身近な場所で気軽に参加できる場として、ともの輪やサロンなどを実施しています。</li> <li>○ 高齢者が地域で参加しやすい環境の整備については引き続き検討をしております。</li> <li>○ 参加する際の移動手段の確保については、参加者自身が自力で移動することも介護予防に資するという考えも考慮しつつ検討をしております。</li> <li>○ 高齢者がスマホなどの機器の使い方を学べる機会は、庁内他課の事業やシルバー人材センターへの委託事業により確保するよう努めてまいります。</li> </ul>
【委員】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 84ページ「通所介護【評価・課題】」について</li> <li>○ 最初の2行 令和4年度の部分から書くべきではないでしょうか。</li> <li>○ 5年度に回復がみられるものの、4年度は・・・というのをおかしいです。5年度は回復していることが、そのあとに書かれる方がいいと思います。</li> </ul>

【事務局】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文言を次のように修正します。 「令和5年度前半には需要の回復が見られるものの令和4年度は減少傾向であり」を「令和4年度は減少傾向にあったが、令和5年度に回復したものの」に修正します。</li> </ul>
【委員】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 90ページ「福祉用具貸与【評価・課題】」について</li> <li>○ 最後の行「今後もこの傾向は続くと考えられる」とありますが、これは3行目の「計画値を下回る状況」も今後続いてしまうようにとられます。介護予防福祉用具の貸与は計画値を下回る予想ならば、計画値の設定と合わないように思います。</li> </ul>
【事務局】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文言を次のように修正します。 「この傾向は」を「利用者数の増加」に修正します。</li> </ul>
【委員】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 17ページ「ア 健康教育（健康推進課事業）」について。</li> <li>○ 当該事業の第8期の延人数実績が年々増加しているにも関わらず、第9期計画では令和5年度を下回っている理由は何でしょうか。</li> </ul>
【事務局】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 該当事業の見直しにより、次年度より廃止する事業があるため計画値が実績を下回っています。</li> </ul>
【委員】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 35ページ「ア 地域ふれあい事業」について</li> <li>○ 第9期計画の記載がないのはいかがでしょうか。施策の方向性において「制度を見直し」との記述はありますが、これだけで第9期計画の記載をしないのはやや説明不足ではないでしょうか。</li> </ul>
【事務局】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現在事業についての検討をしている最中のため、数値目標等は記載しておりません。</li> </ul>
【委員】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 78ページ「ア デマンド型交通の実施について」</li> <li>○ デマンド型交通はとても合理的ですが、どこが（誰が）コーディネートするのでしょうか。</li> </ul>
【事務局】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ デマンド型交通は、予約受付及び運行を交通事業者に委託する予定であることから、乗り合いのコーディネートは委託先が行うことになります。</li> </ul>
【委員】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 95ページ「b 夜間対応型訪問介護」について。</li> <li>○ 在宅介護においては、大変助かる事業だと思います。今後、事業所の整備をご検討願います。</li> </ul>

【事務局】	○ 「夜間対応型訪問介護」と同様に夜間の対応が可能となる介護サービス「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」や「看護小規模多機能型居宅介護」を第9期の施設整備計画に位置づけさせていただきましたので、ニーズ補完ができるものと考えております。
【関係者】	○ 18ページ「健康手帳」について ○ 高齢者の健康管理という面から介護予防手帳を他市で作成しているところもある。
【事務局】	○ 高齢者が健康管理をする紙媒体として、お薬手帳や血圧手帳、健康手帳など、すでに普及しているものがあるため、現時点で介護予防手帳は不要であると考えます。
【関係者】	○ 51ページ「通所型サービスC」について ○ 水中ウォーキング教室終了後に地域で継続していけるよう、北部体育館プールを使用可能に整備してほしい。
【事務局】	○ 北部体育館プールは一般に開放しており、教室参加者が教室修了後に同プールを利用することは現在も可能です。 ○ 教室参加により得られた運動習慣は、市内4箇所の屋内プールを利用し継続して頂きたいと考えております。
【関係者】	○ 43ページ「老人福祉施設入所措置」について ○ 特養の「やむを得ない措置」の実施が0であるが、要介護3未満で困難な状況にある場合が多くある。特例への検討は可能とならないのか。
【事務局】	○ いわゆる特養やむ措置（本入所）について要介護3未満であっても制度的に実施可能となっておりますが、個々の事情に応じた検討が必要となります。
【関係者】	○ 59ページ「地域包括支援センターの運営」について ○ 地域ケア会議の開催計画値は市から設定されたものか。各包括センターが自主設定されたものとしてよいか。
【事務局】	○ 各センターによる自主設定ではなく、本プランにおける設定の値となっております。
【関係者】	○ 74ページ「成年後見制度の活用」について ○ 市長申し立てが0実績であるが、他市と異なる要因は何なのか。親族調査にかかる時間は長く、それだけ対応困難さを関係者が抱えることにならないのか。

<p><b>【事務局】</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ どのような事案について市長申し立てを行うかについては国等から通知等により方針が示されていないことが、市町村間で運用の差が生じている一因と思料します。</li> <li>○ 成年後見制度は当事者による申し立てに基づく利用に委ねることが基本となっていることから、本人や親族による申し立てが期待できないものかの確認のために親族調査は必要と考えます。</li> <li>○ なお、例えば任意後見制度の活用など緊急時に至る前に備えることも必要と考えます。</li> </ul>
<p>議事(2) パブリック・コメントの実施に係る一部内容の変更について（報告事項）</p>	
<p><b>【事務局】</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第4回会議において本計画に係るパブリック・コメントの実施についてご説明をさせて頂きましたが、より多くの市民からのご意見を頂くため、一部の事項について内容の変更がありましたので【資料2号】のとおりご報告させて頂きます。</li> </ul>
<p>その他のご意見（計画（案）についての全体的なご意見やその他のご意見）</p>	
<p><b>【委員】</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多様な事業がありますが、いかに市民や関係者に周知するかが大切だと思う。今回、担当課が記したことは、市民にわかりやすく良い。</li> </ul>
<p><b>【委員】</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 私は、民生委員として、サロンの運営側として、地域の高齢者に関わることが多いので、YouBusやデマンド型の移動支援への期待や苦情を耳にします。まずは事業の周知、そして住民の声を聴き、見直しをし、よりよい方法で継続していてもraitたい。</li> </ul>
<p><b>【事務局】</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ご意見ありがとうございます。担当課へ引継ぎをさせて頂きます。</li> </ul>
<p><b>【委員】</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ フレイル予防事業（P28）は、フレイルチェックはスタートであり、予防をするためには、その先の取り組みが必要に思う。単発の運動教室ではなく、少人数でも地域で定期的（週1回とか2回）な体操教室などできないか？</li> </ul>
<p><b>【事務局】</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ご意見ありがとうございます。フレイル予防は、単発ではなく継続的に取り組むことが重要であり、地域サロンやとの輪がそういった場となっていると認識しております。</li> <li>○ また、サロンへの出前講座を通して体操などの普及活動を行っております。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今後も地域で継続して行えるようサロンと協働してまいりたいと考えております。</li> </ul>
【委員】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 介護予防の強化について</li> <li>○ 一橋大学の政策フォーラムの中で、介護の問題を取り上げています。その中で、給付増に対する選択肢は①財源を増やす②給付を減らす③介護者を抑えると提言しています。又、その中で③の介護者を抑えることが一番重要であると提言しています。</li> <li>○ 今後、介護者の増加は避けられません。それに伴い認知症など介護が必要な高齢者も増加します。この介護を必要とする高齢者を抑制するのが予防です。今後の高齢者施策の基本は予防が重要と提唱しています。近年のテーマは介護予防の強化です。</li> <li>○ 介護予防で介護者を抑えることは介護費用の増加を抑えることにつながります。</li> </ul>
【委員】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ デジタルの推進について</li> <li>○ 今年10月国はデジタル行財政改革会議にて優先的に取り組む項目として「教育」「交通」「介護」としています。</li> <li>○ 最近海老名市でもデジタル化に力を入れています。</li> <li>○ デジタル化、AI化（例えば介護ロボット等）の進展は急速に進んでいます。</li> <li>○ これらを今後どのように介護の面で活用できるかを検討できるのは、介護の現場に一番近い市町村の役割と考えます。</li> <li>○ 高齢者保健福祉施策の分野でこのデジタル化、AI化を取り上げることは急務と考えます。</li> </ul>
【事務局】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ご意見ありがとうございます。国の動向を注視しながら対応してまいります。</li> </ul>
【委員】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ポイント制の導入について</li> <li>○ 現在、健康マイレージを配布しています。これとは別に高齢者向けの各種講座や教室、イベント、サロン等参加ごとにポイントを配布します。</li> <li>○ ポイントを集めれば何かもらえる制度にします。楽しみながら社会参加を促します。</li> <li>○ 社会参加は運動や脳の活性化にもつながり、最善の介護予防です。</li> </ul>

【事務局】	<p>○ 現在も、介護予防事業などに参加した場合、健康マイレージのポイントの対象となっています。また、高齢者の社会参加を促すために、介護ボランティアポイント事業がありますが、登録者が少ない状況です。</p> <p>○ 今後も多くの方に参加していただけるように、普及啓発に努めます。</p>
【委員】	<p>○ 私自身を含めまわりは高齢者ばかり。お互いに支えあって生きていかなければと思うのですが、周囲とつきあうのはわずらわしいのかまるっきりご近所つきあいしない人にはどう接したらよいか悩みます。</p>
【委員】	<p>○ ご近所の一人暮らしの男性（80代半ば？）3年前に脳出血発症、左半身不随、声を失いました。看病していた奥様を1年前に亡くされてからは一人暮らし。</p> <p>杖をつきながら一生懸命歩いていらしたのですが、突然姿を見かけなくなりました。家の中で倒れているのを訪問介護の方が発見、救急搬送されしばらく入院。今は自宅に帰り、また一人暮らし。藤沢に住む娘さんが週一度訪ねてきて、ゴミ出しや掃除などを行っているらしい。外を歩く姿は見かけなくなりました。ゴミ出し位お手伝いします。と申し出たいが、ご本人声が出ないので私は話できません。</p>
【事務局】	<p>○ ご意見ありがとうございます。ご近所にお住いの高齢の方のことで心配があれば地域包括支援センターへご相談ください。</p>
【委員】	<p>○ 確認させて頂きました。適切な内容と考えます。ありがとうございました。</p>
【委員】	<p>○ 全体的に見て、表や写真等もわかりやすくなっていると感じました。また、日常生活圏域についても、望地や社家についての検討の件も表記して頂きありがたいです。</p>
【委員】	<p>○ 意見としてはP94以降に出てくる第9期（計画）の表で6圏域に別れているのはいいのですが、まだ慣れていない方が多いので、日常生活圏域についてはP5を参照のようなものを入れてはどうかと思いました。たくさんあるのでしつこくなってしまうかもしれませんが。</p>

【事務局】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ご意見ありがとうございます。</li> <li>○ 日常生活圏域についてはパブリック・コメントでの意見を踏まえて、マップ等を追加することで分かり易いように変更させていただきます。</li> </ul>
【委員】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 意見提出方法の追加で市公式LINEからの提出が可能になった事は、より多くの意見を受け付ける方法として市民の扱いやすい方式を取り入れた事は良いと思います。</li> </ul>
【委員】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全体的に表記の仕方にムラが有るといふか、統一感が薄いと感じる部分がある。担当課を記載するのであれば、全てにおいて記載する方が市民にとってどの課が担当窓口となるのか理解し易いと思う。</li> <li>○ また表記の仕方が市民に伝わり難いのではないかと感じた。</li> <li>○ 17頁あたりから気になったのが「評価・課題」に関してだが、「評価」と思われる記述の部分は良いとして「課題」として記述される部分が「具体策」や「方針」「感想」等の様な記述となっており、「課題」として市がどの様に見ているか、捉えているかを示す必要があるのではないかと感じた</li> <li>○ 「課題」として挙げにくいのであれば、表記の仕方から「課題」を消す方がまだ良いのではないかと感じた。後半の方は「課題」がよく記述されていたので、余計にそう感じる。</li> </ul>
【事務局】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ご意見ありがとうございます。</li> <li>○ 本計画における各事業の記載内容については各事業の担当者が主に編集させて頂いており、そのことが統一感や記載内容のばらつきにつながったものと考えられます。次期計画の策定の参考にさせていただきます。</li> </ul>
【委員】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ パブリック・コメントの意見提出方法等に（５）市公式LINEが追加されたのは大変良いことと思いました。</li> </ul>
【委員】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 意見ではないのですが、海老名市のヤングケアラー対策が複数の課が横断的に取り組みを話し合い、要綱なるものができたことをうれしく思います。「プラン（計画）」が「do（実行）」されることが肝要だと考えています。</li> </ul>
【関係者】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ プランには載りにくいと思いますが、事業実施にあたって地域包括支援センターの運営の全体的な機能・特性の検討及び調整が必要になってきている。</li> </ul>

**【関係者】**

- 事業の整理が必要ではないでしょうか。支援対象者や支援内容が似通った事業「他の事業でフォローできている」との理由で終了するものがあったとしても良いのでは無いでしょうか。
- 事業数が過多になることで市の業務が煩雑になり、費用対効果も低くなる様に感じます。